

# スクールソーシャルワーカー の活動について

精神保健福祉士  
九州ルーテル学院大学  
人文学部 岩永 靖

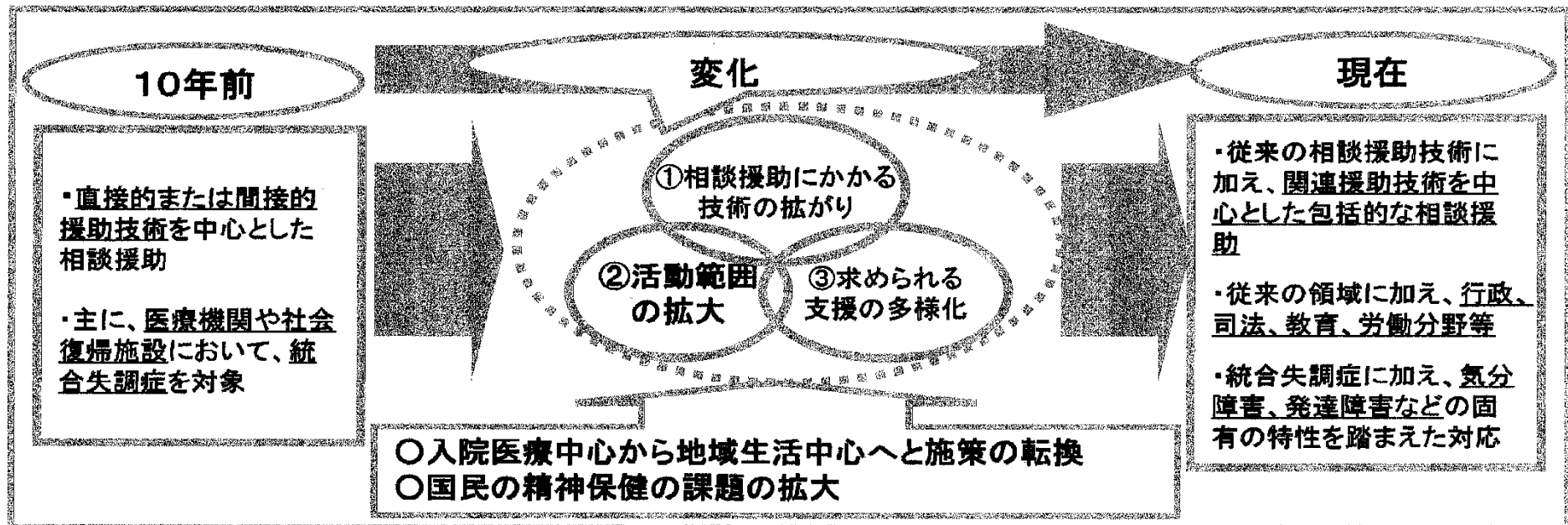
# 精神保健福祉士とは？

- 精神保健福祉士とは、1997年に誕生した精神保健福祉領域のソーシャルワーカーの国家資格です（1950年代より精神科医療現場で精神科ソーシャルワーカーとして活動）。**社会福祉学**を学問的基盤として、メンタルヘルスに課題を抱える人たちの**生活問題**や**社会問題**の解決のための援助や、社会参加に向けての支援活動を通して、**その人らしいライフスタイルの獲得**を目標としています。

# 精神保健福祉士の役割の変化について

精神保健福祉士制度の施行から現在に至るまでの間に、精神保健福祉士の役割については、

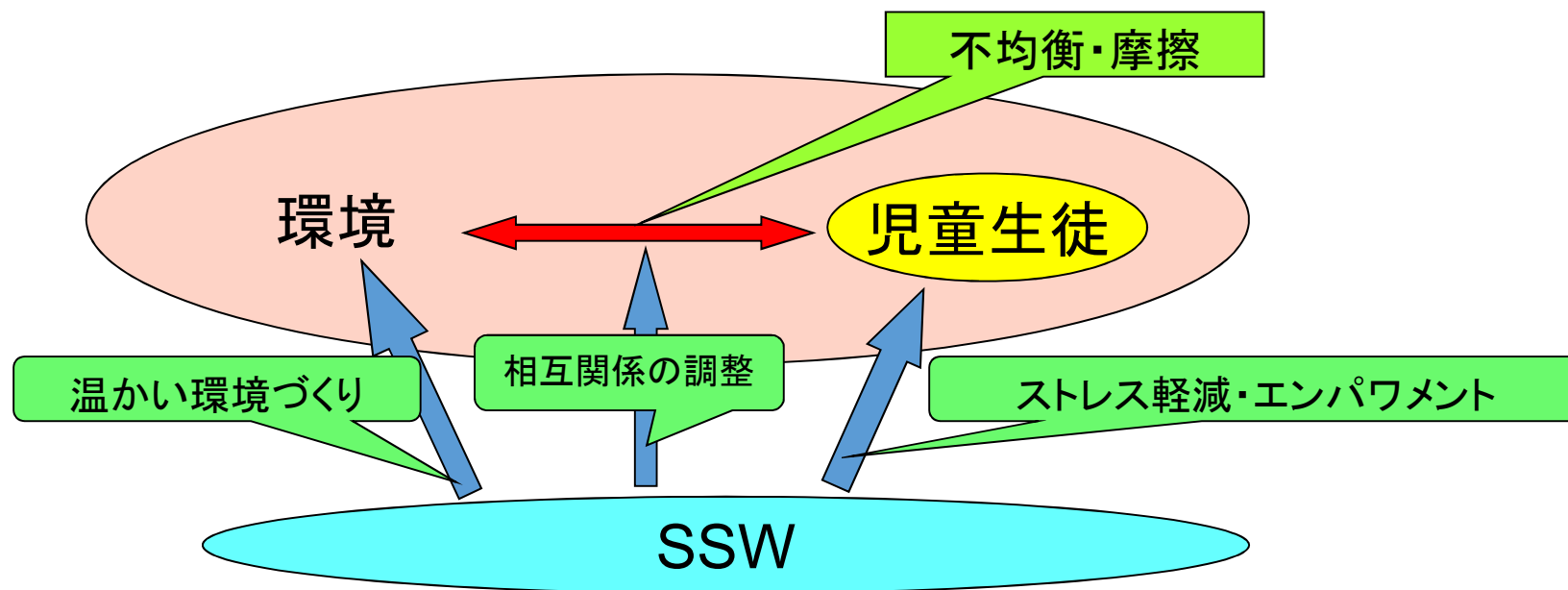
- ① ノーマライゼーションの理念に基づき、相談援助にかかる技術の拡がり、
  - ② 精神保健の課題の拡がりに伴う活動範囲の拡大、
  - ③ 精神保健の課題の拡がりに伴う求められる支援の多様化
- といった点で、変化があったところである。



# スクールソーシャルワークの基本

- 児童生徒の発達権・学習権を保障し、貧困の連鎖、社会的排除を是正し、一人ひとりの発達の可能性を信頼し、多様な社会生活の場において、とりわけ学校生活を充実させ、児童生徒とその家庭の**自己実現**を図るために、**人と環境の関わり**に介入して支援を行う営み

(スクールソーシャルワーク教育課程認定事業に関する規定：一般社団法人日本社会福祉士養成校協会)



# SSWとしての役割

- 当事者主体

問題解決の主体は当事者であり、SSWは対人関係のモデルとなること

- 将来を見据えた支援、当事者のエンパワメント

当事者が自分たちの力に気づき、その力によって改善していくことができたと感じれること

- 問題の社会化

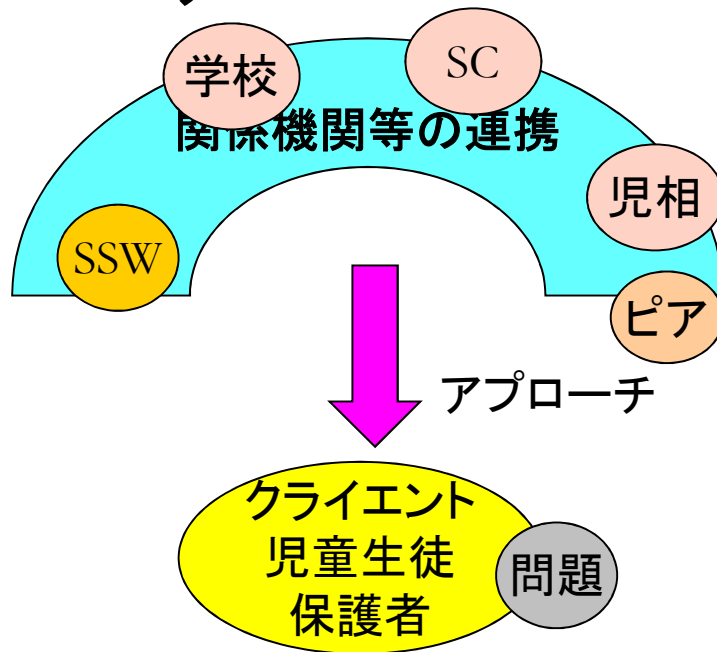
個人の問題に終わらせない、地域づくりや社会の問題に

- 義務教育にかかわる意義

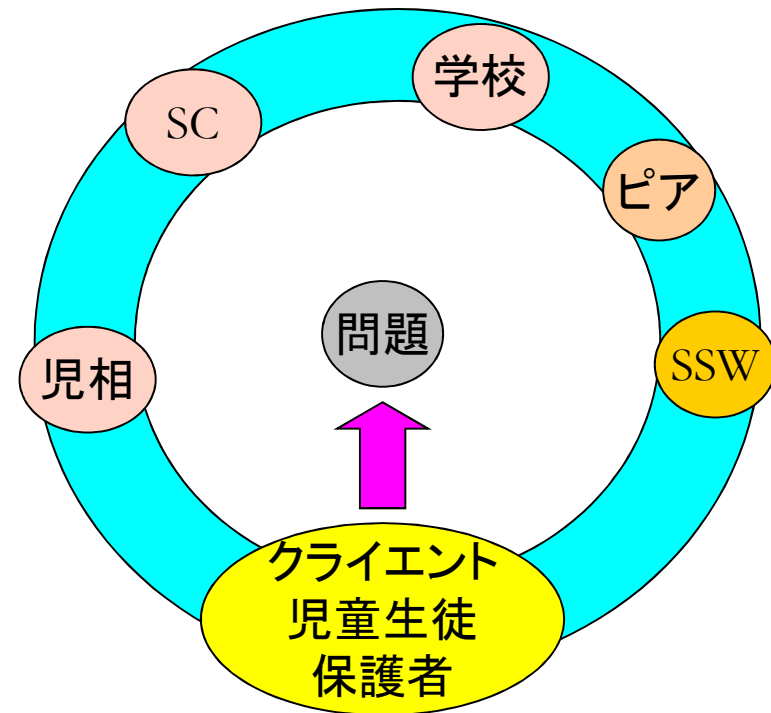
貧困や児童虐待などの児童福祉課題へ介入、早期支援

# 連携と協働

- 関係機関等が連携してクライアントへアプローチ



- クライアントと協働して、問題へ取り組む



## チーム学校と組織的な支援体制の在り方

- SC、SSWの役割の明確化と共通理解
- コーディネーター役教員の重要性と教職員の力  
初期情報の集約、SC・SSW等の役割理解、簡単な見立て、気づきと情報伝達
- 校務分掌の位置づけとあり方の検討  
どのように情報を拾い上げるか、ケース会議の位置づけ
- チームとは  
効果的な役割分担とそのための日常的なコミュニケーション、多職種間の相互作用、チームになっていくプロセスを重視

# SSWに求められる資質

- 生物的—心理的—社会的 (bio-psycho-social) な視点で人を捉える力 (アセスメント)
- 優れた対人援助能力
- 子どもたちの環境である周囲の人びととの対人関係調整能力に極めて優れた力 (連携の基本)
- ソーシャルワークを行う上で必要なコミュニケーション能力を持ち、“子ども達の利益を最優先する” というスクールソーシャルワークの基本的な視点・考え方を有すること



## SSWの活用方針等に関する指針の在り方

- ソーシャルワークの基盤、機能を盛り込んだ内容
- 活動しやすい勤務形態、勤務環境
- 適正ケース数などの目安
- スーパービジョンにおける支持的機能、教育的機能、管理的機能の位置づけ
- 効果的な配置形態  
(チームが機能するには、拠点巡回型が有効)
- 専門性が発揮できる柔軟な体制の確保
- 職能団体の業務指針等の活用

# まとめ

- 共に考え合うチーム
- 教職員、他職種が支え合うチーム
- 互いの専門性の向上

# 用語の説明

- SSW: スクールソーシャルワーカー
- SC: スクールカウンセラー
- クライアント: SSWの支援を必要とする者(支援を受けるためにSSWに支援を申し入れた者)
- 当事者: クライアント
- ピア: 同じ悩みを持つ仲間、児童・生徒同士